



桃一通信

No. 6 4 6



桃井第一小学校
(3390)3178(代)

令和2年 11月号

「からだ力 12 年」

校長 高橋 浩平

今月号は「からだ力」について記したいと思います。

「からだ力」とは「運動能力だけではなく、基本的生活習慣や食育も含めた総合的な力」のことです。これは内田裕司元校長が提唱し、からだ力向上の取組として健康教育を推進してすでに 12 年目になります。少し、その歴史をひもときたいと思います。

平成 21 年（2009）に杉並区の教育課題研究指定校の指定を受けて、本校で「からだ力」の取組が始まりました。当時はまだ「体力」と漢字表記で、これを「からだりよく」と読んでいました（この頃の桃一小の子どもたちは「体力」という漢字を見ると「からだ力」と呼んでいたそうです）。

朝の仲よしタイムでの長縄の取組、桃一体操も始まりました（桃一体操はジャクソン 5 の「I Want You Back」で、この曲が街中で流れるとすぐ桃一体操を連想してしまう人がたくさんいるようです）。歩数計調査も始まっています（歩数計調査も「手で振って振って」「その場でぴょんぴょんと飛んで」回数を増やす人がいた人がいたのを知っています）。給食での完食賞、「運動・生活習慣・食育」のカリキュラムづくりも進みました。以下、簡単にまとめます。

平成 22 年（2010） 現在につながる「からだ力」の「日常化・生活化・習慣化」の提唱。

平成 23 年（2012） 小中一貫教育を視野に入れて、「小・中 9 年間の『からだりよく 9 (ナイン)』」の提唱。「MOMO リズム」を考案し、「桃一体操」「リズム水泳」「MOMO リズム」と、「体育授業のシステム化」を促進。

平成 24 年（2012） 現在に続く「からだ力向上

カリキュラム」を提案。この年から杉並区教育委員会体力向上推進センター校になりました。

平成 25 年（2013） 体力向上センター校として発表会を行いました。

平成 26 年（2014） 「『からだ力』あってこそ学力が身に付く」ことを提案。

平成 27 年（2015） オリンピック・パラリンピック教育カリキュラムのスタート

平成 28 年（2016）「心の健康」という面から「道徳」の授業研究を開始。

平成 29 年（2017） オリンピック・パラリンピック教育アワード校。オリパラ教育計画を作成。これまでの集大成として『今こそ、からだ力』書籍の刊行。

平成 30 年（2018） 公開報告会を開催し「からだ力」について報告。

平成 31 年（2019）「道徳」の授業研究の充実。道徳授業の在り方について研究。

ここまで 11 年かけて実践を積み重ねてきました。もちろん課題もあります。「長縄が苦手」など、運動が得意でない子もたくさんいます。健康面で心配な人もいます。身体だけではなく「心の健康」に課題がある児童もいます。多様な取組が求められていると感じます。児童一人一人が、どれだけ「自分事」として自分の「からだ力向上」を意識し、行動できるか。健康教育は「意識変容」と「行動変容」が大事と言われています。新型コロナウィルスの影響で、従来のような運動機会がなかなかとれない中、改めて、「今だからこそからだ力」との思いを強くしています。

学校ニュース

*第 38 回メトロ児童絵画展で、4 年田中良明さんが、奨励賞を受賞しました。

*第 43 回杉並区軟式野球連盟秋季大会で、桃一小野球クラブ低学年が優勝しました。

11月の生活目標「物を大切にしよう」



筆箱の中身を見てみましょう。鉛筆や消しゴム、定規には名前が書いてありますか？物を大切に扱っている人は、自分の持ち物にしっかりと名前を書いています。時間を見つけて、自分の持ち物の点検をしてみましょう。持ち物に名前が書かれていると、もし落としてしまっても戻ってきます。毎日自分で使うものだからこそ大切に扱い、愛着のあるものにしたいですね。

自分の物を大切にできる人は、みんなで使う物も大切に使い、扱うことができます。また、学校の物もきまりを守って正しい使い方で使用している姿は、とても立派です。私たち大人にとってもお手本となりますね。

なかまと 力合わせ 心一つに モモリンピック145

9月のモモリンピックは、新型コロナウイルス対応により例年とは異なる形での実施となりました。しかし、子供たちは例年に劣らない意欲や熱意で練習を重ねました。表現運動では、学年全体で集まる回数が少ない中でしたが、友達と動きを合わせられるよう一生懸命練習しました。本番ではどの学年も見事な演技を披露することができました。徒競走では、どの子も自分の精一杯の力で最後まで走り切りました。

また、6年生は一人一人が係を担当し、1、2、3年生をサポートし、応援団に選ばれた子は力強いエールやダンスで学校のみんなを盛り上げてくれました。

各学年、精一杯取り組み、一回り大きく成長したように思います。

今年度は変更点が多くありましたが、本番まで、保護者・地域の皆様にはたくさんのご協力とご理解をいただきました。本当にありがとうございました。



クラブ長紹介



パソコンクラブ

クラブ長 前橋美緒

パソコンを通じて、将来に役立つ実のある活動をしていきます。

百人一首クラブ

クラブ長 瀬戸政太郎

百人一首を初めてやる人も楽しく、分かりやすく遊ぶことができます。

手芸クラブ

クラブ長 斎藤れん

小物入れやペンケースなど、作るものを作り、みんなで作ります。

工作クラブ

クラブ長 藤井愛

4,5,6年生と一緒に楽しく協力して工作するクラブです。

文芸クラブ

クラブ長 福井梨乃

居心地の良い空間で、思う存分本を書くことができるクラブです。

クイズクラブ

クラブ長 平井武志

クイズクラブは、皆がクイズを考え、楽しく解きあうクラブです。

漫画・絵本クラブ

クラブ長 梶本 結衣

漫画絵本クラブでは一人一人が漫画や絵本を作っています。

ペーパークラフトクラブ

クラブ長 塩島怜称

グリーティングカードや折り紙作品などを作って楽しんでいます。

科学実験クラブ

クラブ長 村上こころ

みんなが安全に楽しくできる実験をするクラブです。

写真・映像クラブ

クラブ長 秋月汐莉

学校内で撮った写真や映像をパソコンで編集します。

室内ゲームクラブ

クラブ長 福田樹花

みんなで同じゲームの内容を決め、楽しく毎回遊んでいます。

1年生 生活科見学



1年生は、生活科見学で「野川公園」に行きました。初めての校外学習です。学校の外に学年みんなで出かけられるだけでもワクワクな子供たち。さらに、お弁当も外でみんなと食べられることや、バスに乗って出かけられる目に輝かせていました。

「すぎなみシェアリングネイチャーの会」の方をゲストティーチャーとして招き、秋の自然を新たな視点で体感することができました。

「同じ色を見つけよう」という活動では、ランダムで手にした折り紙の色と、似た自然の物を探す活動をしました。夢中で探し、見つけたとたん「見つけたよ！」とキラキラした笑顔で子供たちが駆け寄ってきました。文字では一言で「緑」と表される色でも、自然の中では微妙な色の変化があることに気付いた嬉しさを伝える姿がありました。様々な種類のどんぐりも、たくさんお土産として持って帰りました。

2年生 生活科見学

2年生は、生活科見学で練馬区の光ヶ丘公園に行きました。「すぎなみシェアリングネイチャーの会」の方をゲストティーチャーとして招き、体験を通して自然と親しみました。

「同じものを見つけよう」という活動では、洋服や帽子などと似た色を、自然の中から見つけました。活動を通して「自然にも同じような色がある。」と驚いたり、「なんで同じどんぐりなのに、色やぼうしの形が違うのだろう。」と不思議に思ったりすることができました。

「ポイズンリムーバー」という活動では、ハチから逃げ、刺された時には、すぐ毒を抜くという動作を、おにごっこに見立てて楽しく活動しながら学びました。他にも様々な活動をしていく中で葉の形や色、触り心地などにとても興味をもちました。

振り返りでは「もっと多くの自然を見つけてい。」と自然に対して、より興味をもつことができました。

